

「宿利原小学校の宿利原棒おどり・薩女おどり伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立宿利原小学校

2 学年・人数

1年生～6年生（計12名）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

7月下旬～8月9日まで宿利原小学校体育館

(2) 発表の日時・場所

平成27年8月9日（日） 宿利原納涼大会（宿利原小学校）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

宿利原棒おどり・薩女おどり（やどりはらぼうおどり・さっじょおどり）

(2) 由来

宿利原棒おどり

昔から宿利原・池田地区に伝えられている。

薩女おどり

宿利原に昔から伝えられている。

(3) 構成等

ア 宿利原棒おどり

踊りの人数に制限はないが、4人1組になって服装は白浴衣、たすき、はちまき、脚絆、草鞋、手甲。道具は約1.2mの棒の先に刃渡り15cmのナタがついているものと、約60cmの鎌を用いる。二人がナタ・二人がカマを持って踊る。

イ 薩女おどり

女の子の踊りで、服装はカスリの浴衣、陣笠をかぶる。約45cmのナギナタを右手に持ち、1文銭を針金にくさったものを左手に持ち、ガラガラ音をたてて振りながら踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

宿利原棒おどり保存会の方は宿利原小学校の男の子に指導し、薩女おどり保存会の方は宿利原小学校の女の子に指導及び伝承を行っている。

学校と地域住民、そして各保存会の方々としっかりと連携が出来ていて、平成27年度までは、今までの流れで伝承を行っていたが、平成27年度からしっかりと学校から保存会へ指導の要請を行って指導していただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

文化財伝承・活用の取組は今現在も、どの方法がベストであるか、模索している最中であるが、学校・文化財保存会・生徒が、協力し伝承できている今の形が良いのではないかと考えている。

発表する場をもう少し増やし、出演者だけでなく町民の皆さんにも「このような文化

財が錦江町にはあるんだ」と思っただけのように今後も活動していきたい。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 覚えるのは大変だけど楽しい。
- ・ 最初は恥ずかしかったけど、今は楽しくなっている。

【保存会】

- ・ 先生方も生徒も真剣に文化財保護及び伝承に取り組んでいただきありがたい。

【教員】

- ・ 児童が一生懸命しているので、楽しみも含めながら応援したい。